



甲斐市立竜王中学校  
学校だより No9  
令和5年10月2日



# 1年の折り返し あたらな目標に向かって

10月に入りやっと暑さも収まり、秋らしさを感じられるようになりました。成功裏に終わった翔龍祭から2週間が過ぎました。翔龍祭では、文化部門・体育部門のそれぞれで、学級・学年・ブロック毎様々なことに取り組んで多くの成果を収めることができました。10月を迎えちょうど1年の半分か過ぎたこととなります。その成果をさらに後半の学校生活に生かしていく時期が今ではないでしょうか。

10月は過ごしやすい気候になり、色々なイベントも催され楽しみでもあります。また、「食欲の秋」「読書の秋」「スポーツの秋」と言われるように、様々なことにチャレンジできる時期でもあります。

さて、そんな10月を迎え、みんなは後半においてどんな目標に向かおうとしているのでしょうか。

1、2年生にとっては中巨摩支部新人大会が間近に控えていますね。9月28日(木)の放課後には部長会を代表してサッカー部の水上君から「部活動強化週間における特別措置」について申し入れがありました。限られた取組時間ではありますが、有意義な活動となるよう頑張ってください。

3年生はいよいよ進路を決定する時期に入っていきます。明日3日には教達検を控えています。卒業後の進路選択について真剣に向き合って行かなくてはなりません。思い通りにならず、苦しいこともたくさんあるかと思いますが、そこから逃げないで自分と向き合って道を切り拓いていって欲しいです。そういうことができる力をこれまでしっかり身に付けてきた3年生だと確信しています。頑張れ、3年生!! 応援しています。困ったことや心配なことがあったら、一人で抱え込まず、周囲の人に相談してみよう。

11月17日(金)には、4年ぶりとなる合唱発表会が予定されています。合唱委員会も動き始めています。学級・学年で取り組む大きなイベントになります。さらに学級や学年の力を高めていけるよう取り組んでいきましょう。



## ◇金子颯透(かねこはやと)先生の紹介◇

9月25日(月)より、2年生の理科を担当して頂くことになりました。金子先生は非常勤講師という立場で、限られた時間内での勤務となりますが、どうぞよろしくお願いいたします。

## 翔龍祭 御礼

保護者・地域の皆様には、ご多用の中をご参観頂き、誠にありがとうございました。皆様からの応援やお褒めの言葉をたくさん頂き、生徒たちは大変励みになりました。時には失敗し、ご心配やご迷惑をおかけする場面もありますが、今後とも竜王中の生徒を温かく見守って頂きますようお願いいたします。

## 「読書の秋」に

読書の秋ということで、「図書館だより」でも建築協会様より寄贈して頂いた本や、先生方からのおすすめ本が紹介されています。秋の夜長に手にとって読んでみてほしいと思います。



さて、せっかくでするので、私からも1冊紹介します。北原照久氏著「たった一言が人生を動かす」(中日映画社)という本ですが、著者の北原氏は、「開運!なんでも鑑定団」というテレビ番組でもおなじみの方です。その著書の一部を紹介します。

### 「木を切り倒すのに 6時間がほしい

#### そのうち4時間は 斧おのを研みがぐことに費やしなさい」

リンカーン大統領のこの言葉は、アメリカの古い民話が伝える格言から引用したものです。

もし、あなたが樵(きこり)だったとして、「6時間のうちにできるだけたくさんの木を切りなさい」と言われたら、何をしますか？

仕事で成果を出せない人ほど、「早く木を切らなければ」と焦って、切れない斧をやみくもに振り回すのですが、なかなか能率は上がりません。できる人というのは、最初は斧のメンテナンスをし、最高の状態にしてから本格的な仕事を始めます。研ぎすまされた斧ですから、そのスピードは先に始めている人よりも何倍も速い。あっと言う間に、倒した木の数は追いつき、追い越し、そして差をどんどん広げていくでしょう。

会社での仕事においても、若い人は功を焦る傾向がありますが、不十分な知識や経験で臨んでは、方向性は合っても結果が思うように出ないことがあります。それより用意周到な準備に徹したほうが、中年期、壮年期になって、一気に飛躍していく可能性は高いのです。

### 「優勝は すぐ 優れて勝つのではなく、 優しく勝つのである」

優れた人が勝つのではなく、優しい人が勝つ……宮里藍さんがおっしゃっていたという深い言葉。トップをねらう人ほど、気持ちを引き締め、謙虚にならなければならないということを実感させられます。

一流のアスリートは、ほとんどの人が勝利したあとで感謝の言葉を口にします。一緒に戦ったコーチやスタッフ、団体スポーツならチームメンバーはもちろん、応援してくれたファンに対して「ありがとう」という感謝の言葉が真っ先に出てきます。そういう人だからこそ勝利をつかむことができるのです。

仕事の世界もちろん、お客様がいて、会社の仲間がいて……と、多くの人に関わって成果は生まれます。アーティストだって誰かの支えがなければ大きな結果を出すことできないし、どんなトップセールスマンでも、商品開発部門だったり、あるいは事務社員たちの支えがあるから、お客さんとの商談に集中することができます。そのことを忘れ、あたかも自分が優れた人のようにおごってしまう……。そうってしまった先は、転落が待っているだけでしょ。

「勝って兜の緒を締めよ」という言葉もありますが、勝利したときこそ謙虚な気持ちになるべきなのです。

勉強や部活に置き換えても同じことが言えるように思います。まだまだたくさんのお名言が紹介されています。是非読んでみては。